




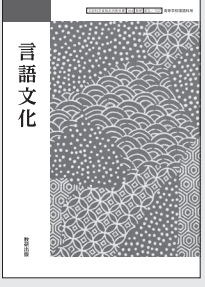


# 新課程版 数研出版「国語」教科書 Q&A

数研出版では、新高等学校学習指導要領 必履修科目「現代の国語」「言語文化」のための教科書を発行いたします。発行に先立ち、各教科書の特徴をQ&A形式にてご紹介いたします。

## 【新課程版 教科書ラインナップ】

〈活用型〉	〈融合型〉	〈多読型〉
 <p>新編 現代の国語 A5判 / 216頁</p>	 <p>高等学校 現代の国語 A5判 / 240頁</p>	 <p>現代の国語 A5判 / 264頁</p>
 <p>新編 言語文化 A5判 / 320頁</p>	 <p>高等学校 言語文化 A5判 / 328頁</p>	 <p>言語文化 A5判 / 336頁</p>

Q1 制度が変わって教科書も大きく変わっていたら、これまでのような授業ができなくなる？

A1 『現代の国語』は、「言語・文化・思想・社会・科学」などの入類出テーマを網羅した評論題材を22題収録していますので、従来のように読解を軸としつつ、新課程に対応した学習事項を体系的に指導していただけます。また、『新編 現代の国語』は、実社会につながる「読む・書く・話す・聞く」力を総合的に学習できるよう構成しており、さまざまな授業スタイルに合わせてお使いいただけます。『言語文化』『古文編・漢文編』の題材は、現行の「国語総合」教科書の定番題材をベースに構成していますので、安心してお使いいただけます。また、『新編 言語文化』は、「近現代編」に定評のある近代小説や人気の高い現代小説を収録し、「古文編・漢文編」に古典への興味を高めるエッセイを収録するなど、題材選択の幅も広く柔軟に活用していただけます。

Q2 「言語文化」は標準2単位だが、古典文法の指導はどうすればよい？

A2 各題材の合間に、「体系古典文法」「体系漢文」とリンクした「チェックポイント」のページを設けていますので、効率的で体系的な文法学習・指導をいただけます。また、教授資料からご利用いただける「古典文法解説動画」で文法学習をサポートします。

Q5 比較読解への対応はどうすればよい？

A5 「現代の国語」「言語文化」の各教科書には、「探究の扉」のページを設けて、比較読解用の題材を収録しています。また、教授資料には、定期試験用として各題材との比較読解用教材・問題例をご用意します。

Q6 観点別評価にはどのように対応すればよい？

A6 各教授資料の「てびきの解説」に、「三本の柱（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力）」に対応した評価規準と評価基準例を掲載します。また、「言語活動」に対応した学習者の評価表（話すこと・聞くこと／書くこと）もご用意します。

Q7 ICTを活用して授業を進めたいが、どのような教材がある？

A7 教科書の学びを深めるためのデジタルコンテンツを、教科書紙面に掲載の二次元コードからご利用いただけます。教授資料付属CD-ROMには、教科書紙面データや加工可能な各種スライドデータ（※）など、ICTでご利用いただけるさまざまなデータをご用意し、スムーズな授業をサポートします。※スライドデータ：本文解説用（現代文分野は本文展開図、古典分野は現代語訳や書き下し文を掲載）や古典文法解説用など。指導者用デジタル教科書では、リフロー機能を備えた本文ビューを搭載し、古典の文法情報などをワンクリックで表示可能です。限られた時間の中での文法指導などをサポートします。  
〈教授資料・デジタル教科書は現在編集中のため内容が変わる可能性があります〉

Q3 「書くこと」「話すこと・聞くこと」の領域の学習は教科書にどう盛り込まれるのか？

A3 『現代の国語』には、てびきの設問を通して、「読むこと」を重点的に学べる「読み深める」と「書くこと」を重点的に学べる「考えを表す」の二編を設け、「話すこと・聞くこと」を「ズームアップ」コーナーで学習できるように構成しています。「高等学校 現代の国語」は、同一単元で「読むこと」「書くこと」を関連づけて学べるよう構成しており、「てびき」や「ズームアップ」を通して「話すこと・聞くこと」の学習事項を押さえることができます。

【新編 現代の国語】は、【評論題材（読むこと）】と【チェックポイント（話す・聞く）または「書くこと」】を基本とした単元構成で、各領域をバランスよく総合的に学習できるようになっています。

Q4 実用文・図表資料の読み取りへの対応はどうすればよい？

A4 「現代の国語」の各教科書には、「実用の文章」を扱う単元を設けています。単に図表を読み取るだけでなく、「目的に合わせて表現を工夫する」「資料を分析して考えをまとめる」などの学習のテーマに即しながら、実用文や図表資料を国語の教科書で扱う意味合いを押さえた学習・指導をさせていただきます。

また、今後は評論題材と図表を組み合わせた入試が増える可能性もありますので、『現代の国語』『高等学校 現代の国語』では、評論を読み解くための背景知識を学ぶ素材として、「てびき」や「チェックポイント」でも図表資料を扱っています。